

NY マーケットレポート (2015 年 2 月 24 日)

NY 市場では、イエレン FRB 議長の議会証言を控えて様子見ムードも強く、序盤の主要通貨は小動きの展開となった。その後、米上院銀行委員会での議会証言で、イエレン FRB 議長が利上げを急がない姿勢を表明したことなどからハト派的と受け止められ、ドルは主要通貨に対して下落する動きとなった。また、米長期債利回りが低下し、10 年債利回りが 2 月 12 日以来の低水準となったことを受けて、日米金利差縮小観測から円が買われる動きとなり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ユーロは、ギリシャが提出した財政構造改革の具体案を EU が了承したことを受けて、序盤堅調な動きが見られたものの、上値はやや限定的だった。

2015/2/24 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.25	119.30	118.79
EUR/JPY	135.11	135.20	134.64
GBP/JPY	184.32	184.42	183.61
AUD/JPY	92.65	92.86	92.43
EUR/USD	1.1330	1.1342	1.1322

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.60	119.24
EUR/JPY	135.47	134.98
GBP/JPY	184.74	184.15
AUD/JPY	92.81	92.49
EUR/USD	1.1335	1.1297

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18603.48	+136.56
ハンセン指数	24750.07	-86.69
上海総合	休 場	
韓国総合指数	1976.12	+7.73
豪ASX200	5926.99	+19.01
インドSENSEX指数	29004.66	+29.55
シンガポールST指数	3437.61	+16.31

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6949.63	+37.47
仏CAC40	4886.44	+24.14
独DAX	10205.74	+74.82
ST欧州600	387.25	+2.17
西IBEX35指数	11064.50	+74.40
伊FTSE MIB指数	22149.75	+185.46
南ア 全株指数	53374.88	+38.42

*中国市場は春節で休場

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.89	119.84	118.77
EUR/JPY	134.85	135.62	134.53
GBP/JPY	183.77	184.85	183.57
AUD/JPY	93.14	93.21	92.65
NZD/JPY	89.08	89.31	88.69
EUR/USD	1.1343	1.1359	1.1289
AUD/USD	0.7835	0.7838	0.7743

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18209.19	+92.35
S&P500	2115.48	+5.82
NASDAQ	4968.12	+7.15
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15164.97	-35.29
ブラジルボルサ指数	43921.55	+245.68
ボネバ指数	51874.17	+593.53

2/25 経済指標スケジュール

09:00 【豪】1月DEWRインターネット求人指数
09:30 【豪】4Q賃金コスト指数
10:45 【中】2月HSBC製造業PMI
16:00 【スイス】1月UBS消費指数
16:45 【仏】2月消費者信頼感指数
17:30 【香港】4Q GDP
18:30 【英】1月BBA住宅ローン承認件数
21:00 【米】MBA住宅ローン申請指数
00:00 【米】1月新築住宅販売件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1197.30	-3.50
NY 原油	49.28	-0.17
CMEコーン	385.50	-1.25
CBOT 大豆	1018.75	+17.25

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.55%	0.61%
3年債	0.95%	1.02%
5年債	1.45%	1.54%
7年債	1.77%	1.87%
10年債	1.97%	2.06%
30年債	2.59%	2.66%

2/25 主要会議・講演・その他予定

・イエレンFRB総裁 議会証言
・米5年債入札

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

《企業決算》

米ホーム・デポ

第4四半期 調整後の1株利益は1.00ドル（予想0.89ドル）

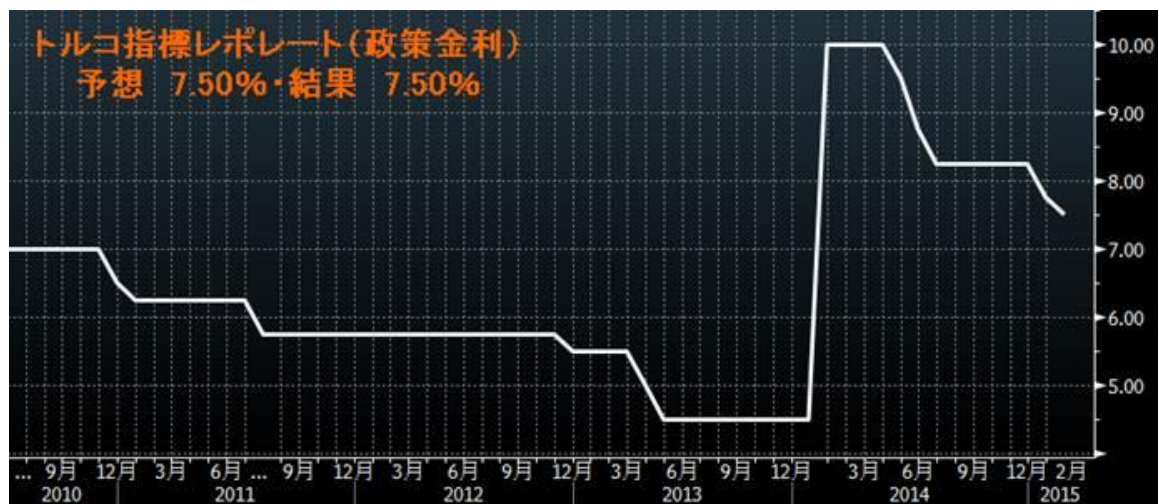
21 : 00

《経済指標の結果》

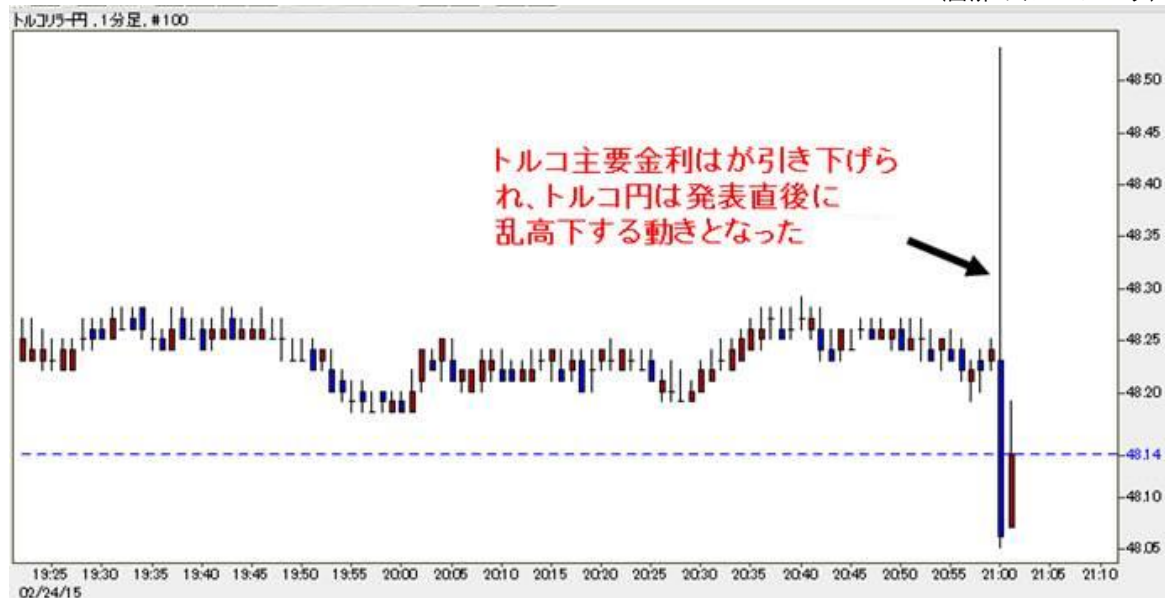
トルコ指標レポレート（政策金利） 7.50%（予想 7.50%・前回 7.75%）

翌日物貸出金利 10.75%（予想 11.00%・前回 11.25%）

翌日物借入金利 7.25%（予想 7.00%・前回 7.50%）



（出所：ブルームバーグ）



（出所：ネットダニア）

21 : 30

欧州委員会～「ギリシャのリストは十分に包括的」

22:00

ドル/円 119.47 ユーロ/円 135.34 ユーロ/ドル 1.1332

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6923.25	+11.09	ダウ INDEX FUTURE	18096	+11
仏 CAC40	4857.19	-5.11	S&P500 FUTURE	2106.60	-0.10
独 DAX	11129.20	-1.72	NASDAQ FUTURE	4441.25	-3.25

(出所:SBILM)

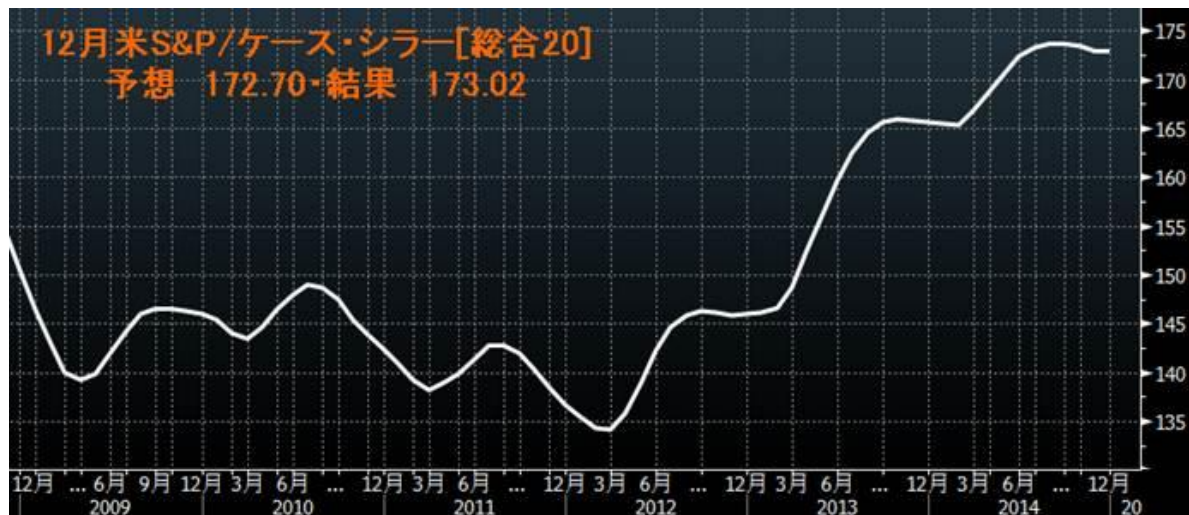
23:00

《 経済指標の結果 》

12 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] 173.02 (予想 172.70・前回 172.92)
前回発表の 172.94 から 172.92 に修正

12 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前年比) 4.46% (予想 4.30%・前回 4.29%)
前回発表の 4.31%から 4.29%に修正

12 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前月比) 0.87% (予想 0.60%・前回 0.78%)
前回発表の 0.74%から 0.78%に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《 S&P/ケース・シラー住宅価格指数 》

(米主要 20 都市) 季調前

12 月 . . . 11 月 . . . 10 月 . . . 9 月 . . . 8 月 . . . 7 月
 指数 173.02 . . 172.92 . . 173.31 . . 173.54 . . 173.68 . . 173.36
 前月比 0.06 . . -0.23 . . -0.13 . . -0.08 . . 0.18 . . 0.60
 前年比 4.46 . . 4.29 . . 4.47 . . 4.79 . . 5.59 . . 6.76

(米主要 10 都市) 季調前

12 月 . . . 11 月 . . . 10 月 . . . 9 月 . . . 8 月 . . . 7 月
 指数 187.81 . . 187.68 . . 188.18 . . 188.47 . . 188.64 . . 188.36
 前月比 0.07 . . -0.27 . . -0.15 . . -0.09 . . 0.15 . . 0.60
 前年比 4.30 . . 4.15 . . 4.38 . . 4.72 . . 5.56 . . 6.79

23 : 10

◀ 要人発言 ▶

モスコビシ欧州委員

- ・「ユーログループ、ギリシャ支援の延長承認」
- ・「ギリシャに関する合意、切迫した危機を回避」
- ・「ギリシャ改革案リストはさらなる協議への妥当な出発点との認識で一致」

23 : 39

米主要株価

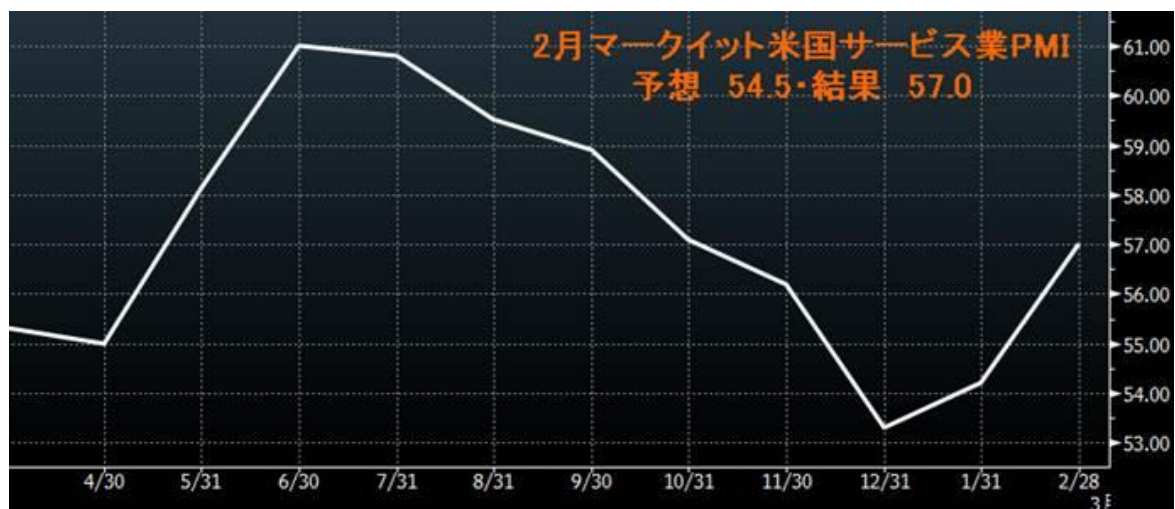
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18145.61	+28.77
ナスダック	4955.70	-5.27

(出所:SBILM)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

2 月マークイット米国サービス業 PMI 57.0 (予想 54.5・前回 54.2)



(出所:ブルームバーグ)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月米消費者信頼感指数 96.4 (予想 99.5・前回 103.8)
 前回発表の 102.9 から 103.8 に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《消費者信頼感指数》

2月・1月・12月・11月・10月・9月

信頼感指数・96.4・103.8・93.1・91.0・94.1・89.0

現況指数・110.2・113.9・99.9・93.7・94.4・93.0

期待指数・87.2・97.0・88.5・89.3・93.8・86.4

【現況指数】

業況

良好・26.0・28.2・24.7・24.8・24.7・24.2

悪化・17.0・17.3・18.9・21.8・21.3・21.2

普通・57.0・54.5・56.4・53.4・54.0・54.6

【雇用】

十分・20.5・20.7・17.2・16.2・16.5・16.3

不十分・53.3・54.7・55.5・55.1・54.5・54.3

困難・26.2・24.6・27.3・28.7・29.0・29.4

【半年先】

業況

改善・16.1・18.9・17.8・18.3・19.4・19.0

悪化・8.7・8.2・9.9・10.4・8.9・11.4

横ばい・75.2・72.9・72.3・71.3・71.7・69.6

雇用

改善・13.4・17.3・14.6・15.5・16.0・16.0

悪化・14.3・14.8・16.5・16.1・14.1・16.9

横ばい・72.3・67.9・68.9・68.4・69.9・67.1

0:00

《経済指標の結果》

2月リッチモンド連銀製造業指数 0 (予想 6・前回 6)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《リッチモンド連銀製造業指数》

2月・1月・12月・11月・10月・9月

景況指数・・・ 0・6・7・4・20・14
出荷・・・ -1・10・5・1・23・11
新規受注・・・ -2・4・4・1・22・14
受注残・・・ -10・-9・-5・-2・9・6
雇用者数・・・ 4・5・13・10・14・17

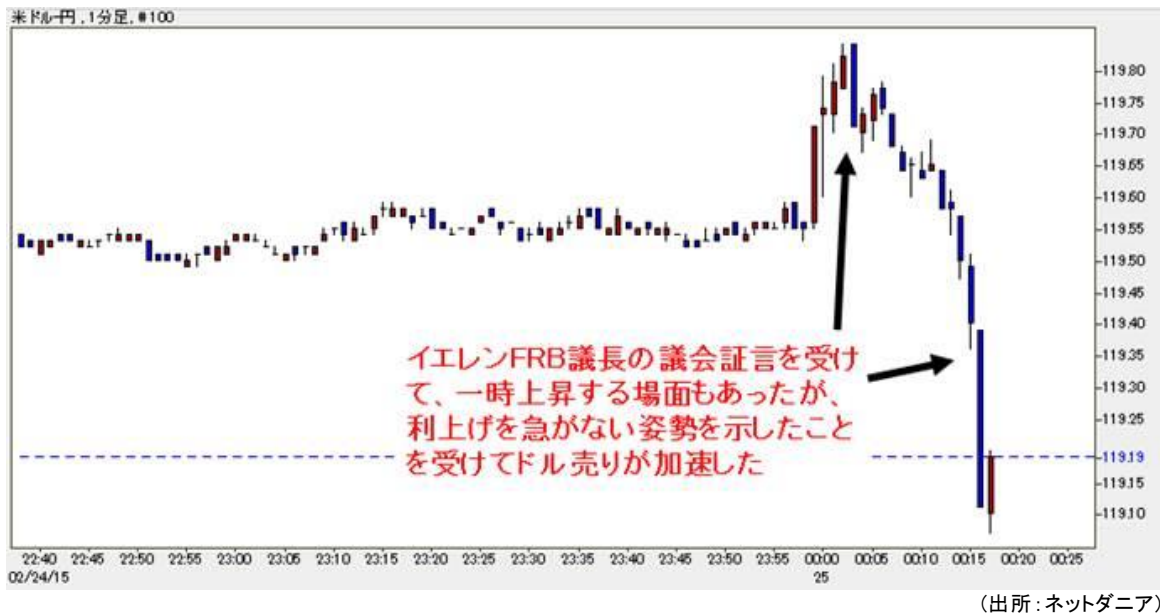
価格動向 2月・1月・12月・11月・10月・9月
仕入価格・・・ 0.32・0.70・1.26・1.57・2.22・2.10
販売価格・・・ 0.09・0.53・0.83・0.90・1.23・1.17

0:15

《要人発言》

イエレン議長～上院銀行住宅都市委員会での議会証言

- ・「利上げ前にフォワードガイダンスを変更する」
- ・「ガイダンス変更、どの会合でも利上げが可能との意味」
- ・「失業率の段階的低下が可能なほどに GDP は強い」
- ・「原油安の影響、米経済には差し引きで大きなプラス」
- ・「株式市場のバリュエーション幾らか高い状態」
- ・「『辛抱強い』は次の2会合で利上げの可能性低い意味」
- ・「食品・エネルギー含む総合の消費者物価に焦点絞る」
- ・「ルールに従って政策を設定することには賛成しかねる」
- ・「賃金の伸び悩み、労働市場の改善の余地を示唆」
- ・「FRB 監査案には断固反対」
- ・「金融政策が通貨の価値に影響を与える可能性はある」
- ・「貿易での優位性を目的とした為替操作は不適切」



0 : 40

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、サービス業関連などの米経済指標が市場予想を上回ったのが好感され、ダウ平均株価は買い優勢となった。しかし、ナスダックは前日まで9営業日続伸したことから、利益確定の売りに押されたやや軟調な展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

2月の米消費者信頼感指数は、96.4となり、市場予想を下回り、前月から7.4ポイント低下となった。燃料価格下落に伴う高揚感が後退したほか、雇用や所得に対する消費者の楽観姿勢が薄れた。現況指数は110.2（前月113.9）、ビジネス環境は良好と回答した割合は26%（前月28.2%）、今後6カ月の期待指数は87.2（前月97）、向こう6カ月に雇用が増えるとの回答比率は13.4%（前月17.3%）と、2013年11月以来の最低所得が増えるとの回答割合は15.1%（前月19.5%）と2013年12月以来の最低となるなど、各項目で前月から低下となった。

1 : 20

《 要人発言 》

イエレン議長

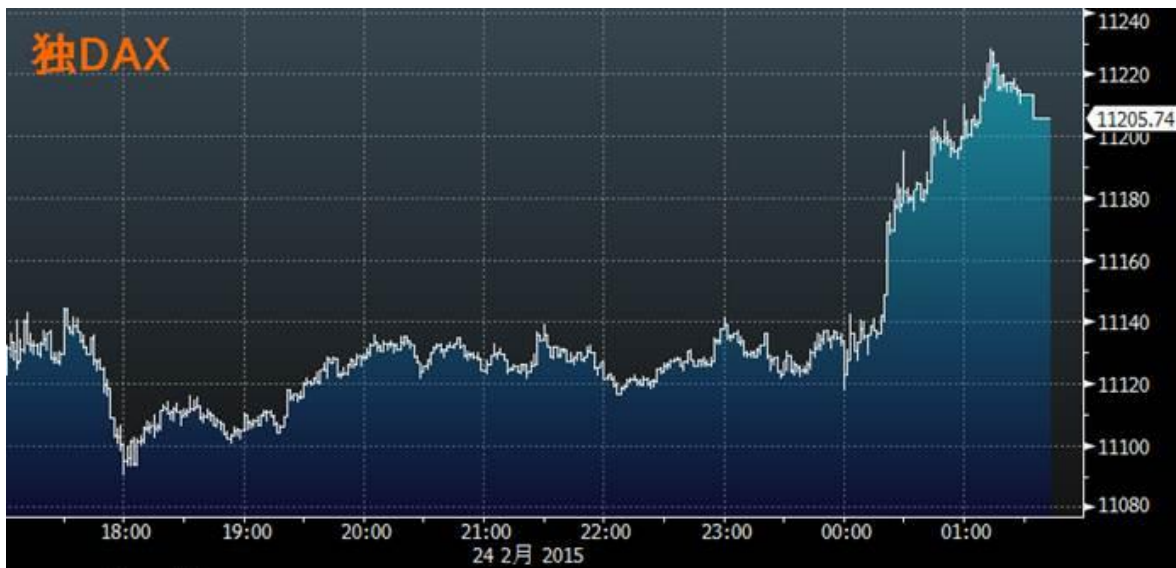
- ・「金融政策が通貨の価値に影響を与える可能性はある」
- ・「FOMCは賃金の伸びに注目、改善のサインを見た」
- ・「賃金の伸びは、まだ大幅な加速が見えない」
- ・「原油など一過性の要因でインフレが抑制されている」
- ・「労働市場の傷は完全に癒えていない」
- ・「雇用の改善を阻害するような行動は取りたくない」
- ・「早すぎる利上げは景気回復と雇用を損う」
- ・「経済は目に見えて回復したがまだ利上げの段階でない」
- ・「FOMCは資産バブルのリスクにも目配りが必要」
- ・「景気の先行きに自信を持つ根拠はある」
- ・「利上げは景気への信頼のサインになろう」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6949.63	+37.47
仏 CAC40	4886.44	+24.14
独 DAX	11205.74	+74.82
ストック欧州 600 指数	387.25	+2.17
ユーロファースト 300 指数	1543.29	+8.21
スペイン IBEX35 指数	11064.50	+74.40
イタリア FTSE MIB 指数	22149.75	+185.46
南ア アフリカ全株指数	53374.88	+38.42

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ユーロ圏の財務相がギリシャの財政改革案を承認したことや、イエレン FRB 議長が利上げを急がない姿勢を示したことが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。英 FT100、独 DAX は、ともに終値ベースの最高値を更新した。



(出所: ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 18189.96 (+72.79)、 S&P500 2113.76 (+4.10)、 ナスダック 4963.60 (+2.63)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、イエレン FRB 議長が議会証言で利上げを急がない姿勢を示したことが好感され、買いが優勢となった。ただ、ギリシャの財政改革案を EU のユーロ圏各国の財務相が承認し、債務問題への懸念が後退したことや、米 2 年物国債入札を控えていることから、伸びは限定的となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.65% (前日 2.66%)、10 年債が 2.05% (2.06%)、7 年債が 1.85% (1.87%)、5 年債が 1.52% (1.54%)、3 年債が 1.00% (1.02%)、2 年債が 0.59% (0.60%)。

3 : 00

《米財務省 2 年債入札》

最高落札利回り 0.603% (前回 0.540%)
 最低落札利回り 0.539% (前回 0.479%)
 最高利回り落札比率 . . . 14.52% (前回 75.30%)
 応札倍率 3.45 倍 (前回 3.74 倍)

4 : 50

NY 金は、中心限月が前日比 3.50 ドル安の 1 オンス=1197.30 ドルで取引を終了した。

5 : 10

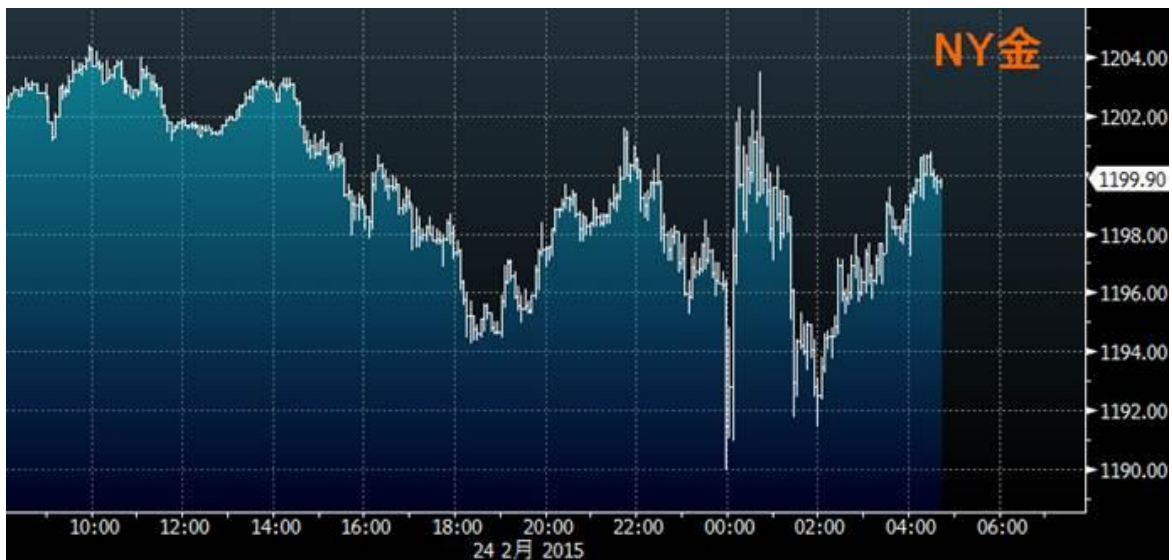
NY 原油は、中心限月が前日比 0.17 ドル安の 1 バレル=49.28 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1197.30	-3.50
NY 原油	49.28	-0.17

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

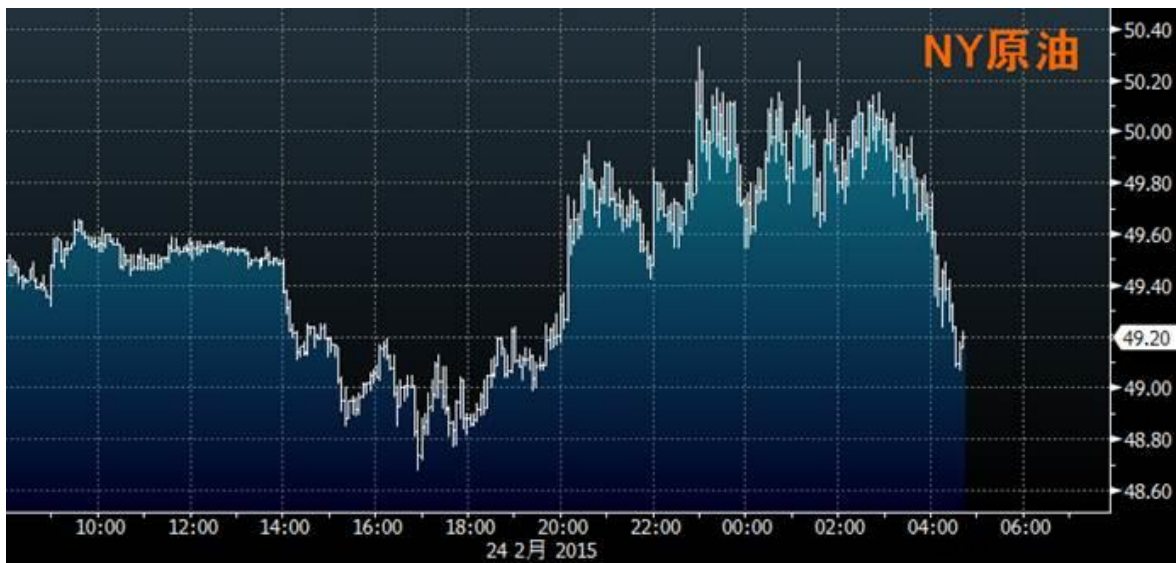
NY 金は、ユーロ圏財務相会合がギリシャの財政改革案を承認したことで債務問題への懸念が後退し、比較的安全な資産とされる金が売られた。また、イエレン FRB 議長が議会証言で、雇用が順調に回復しているとの認識を示したことも圧迫要因となったが、利上げに慎重な姿勢を示したことから買い戻しの動きも見られた。



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、ユーロ圏各国の財務相がギリシャの財政改革案を承認し、欧州経済の先行き懸念が後退したことなどから買いが先行したが、その後は 25 日発表の米石油在庫統計で、原油在庫の増加が見込まれることから売りが優勢となった。



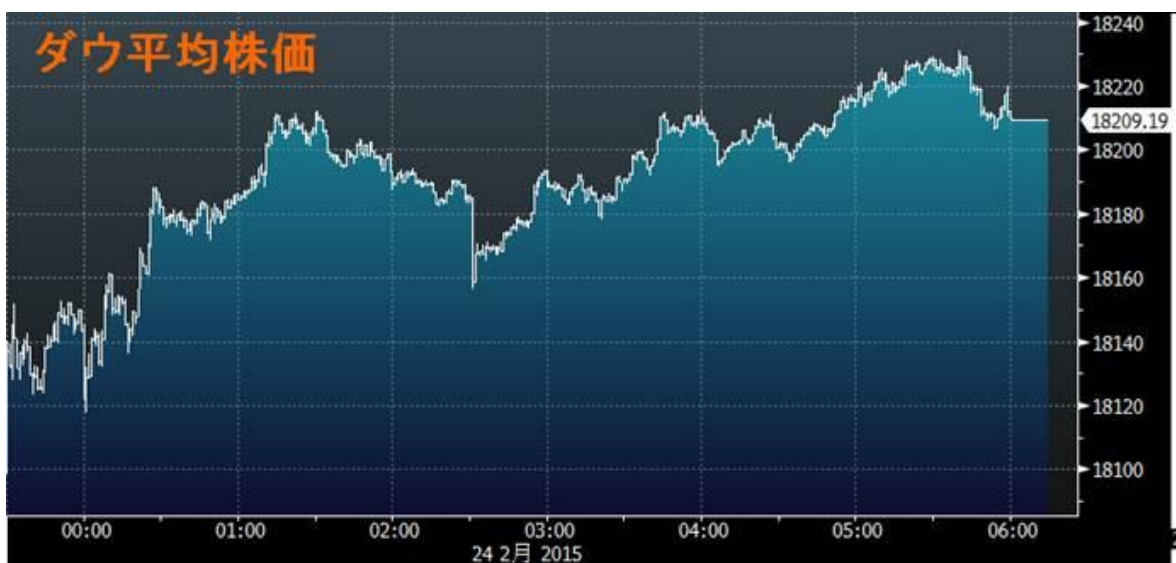
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18209.19	+92.35	18231.09	18098.73
S&P500 種	2115.48	+5.82	2117.94	2105.87
ナスダック	4968.12	+7.15	4971.18	4945.14

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、序盤からまちまちの展開となった。ダウ平均株価は、サービス業関連などの米経済指標が市場予想を上回ったことが好感され、序盤から堅調な動きとなった。一方、ナスダックは、前日まで9営業日続伸したことから、利益確定の売りに押され、やや軟調な動きとなった。その後、イエレン FRB 議長が利上げを急がないと発言したことを受けて、主要株価は上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.89	119.84	118.77
EUR/JPY	134.85	135.62	134.53
GBP/JPY	183.77	184.85	183.57
AUD/JPY	93.14	93.21	92.65
NZD/JPY	89.08	89.31	88.69
EUR/USD	1.1343	1.1359	1.1289
AUD/USD	0.7835	0.7838	0.7743

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は、イエレン FRB 議長の議会証言を控えて、様子見ムードからもみ合いの展開が続いた。そして、議会証言では、利上げを急がない姿勢を示したことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落となり、円が買われる動きとなったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。